

学校名 [南光台東中学校] 指導者 [各学級担任] [中] 学校 [1・2・3] 年版 単元名 [自分の身は自分で守る] 副読本 P40～43 教科・領域名 [学活] [時間 50分 2時間扱い]	
主な学習活動 (予定している活動)	指導の実際
<p style="text-align: center;">【学級活動のねらい】</p> <p>震災時に小学校4・5・6年生だった現在の中学1～3年生に震災の経験を振り返らせると共に、災害に備え「減災」につなげる対応力を身につけさせる。</p> <p style="text-align: center;">【第1時】</p> <p>活動1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">2011. 3. 11 震災時の被災経験について</div> <p>地震発生時及びその後の様子を思い出させ、班で話し合い、発表し合う。</p> <p>① 発生時の避難の様子はどうだったか？</p> <p>② 家庭の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安否確認をどのように行ったか ・食料・水・トイレ・情報入手手段など <p>③ 避難所での生活</p> <p>*③がない場合は、教師から実態を概説・紹介する。</p> <p>活動2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">地震発生！そのとき、自分ならどうする？</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">副読本 P40 の写真①～④</div> <p>それぞれの場合の予想される危険について班で話し合い、発表し合う。</p> <p>① 学校での調理実習中</p> <p>② 登下校時の昇降口付近</p> <p>③ 交通量の多い道路沿いの立体駐車場そば</p> <p>④ ブロック塀や電信柱が林立する住宅街</p> <p style="text-align: center;">【第2時への準備】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">副読本 P42</div> <p>「家族で話し合いチェックをしよう」を宿題として取り組み、家庭での防災意識と実態を調査する。</p>	<p style="text-align: center;">○教師からの提示</p> <p style="text-align: center;">【南光台東中学校の被災状況の振り返り】</p> <p>◇震災時に、太平洋側の沿岸部は未曾有の巨大津波による壊滅的な被害を受けた。南光台東中学区は、津波の被害こそなかったものの、校舎や家屋の半壊・全壊、ライフラインの遮断などの被害を受け、校地内の武道館が臨時避難所となり、地域住民と教職員、そして中学生や高校生の協力により避難所生活が運営された。</p> <p>◇その後4月から、南光台東小学校への「間借り生活」で半年間、そして1年半にわたる仮設校舎での学校生活を経て、今年度4月から本校舎への復帰を果たした。</p> <p style="text-align: center;">【第1時の活動内容】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">活動1 被災経験の振り返りと共有</div> <p>震災時の対応について具体的に振り返り、情報交換を行い、学級全体で共有し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">活動2 地震発生時の危険予測と対応</div> <p>地震発生時の具体的な対処法について確認し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 消火および、危険物の管理 ○ 落下物に対する危険回避 ○ 倒壊に対する危険回避 <p style="text-align: center;">【第2時へ向けての準備・指示】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">副読本 P42</div> <p>「家族で話し合いチェックをしよう」を翌日に回収し、学級全体の実態を次時まで集計しておく。</p>

【第2時】

活動1 自宅の備えについて振り返る

各家庭での調査結果と学級の集計結果を基に、災害への備えとして、具体的に何が必要かを考える。

副読本 P42

- 家の中、家の周囲の安全性確認
 - ・家具などの転倒防止策 ・落下物防止策
 - ・飛び出し防止器具 ・ガラスなど飛散防止フィルム
- 家庭内での食料・水等の備え
 - ・食料や飲料水の1週間程度の備蓄
 - ・生活用水の確保 ・非常用持ち出し袋の準備
- 家族の安否確認の方法
 - ・非常時の連絡方法 ・「災害伝言ダイヤル171」
 - ・避難場所・避難経路の把握
 - ・自然災害に対する知識と避難方法
- 地域での助け合い
 - ・「顔の見える関係」づくり
 - ・身近な高齢者や障害者の把握 ・応急手当の方法
 - ・地域で発生した過去の災害に対する知識

活動2

災害に対する「備え」のあり方について

副読本 P38・39・43

- ① 防災・減災とは ② 自宅内避難所をつくろう
 - ③ 循環備蓄の勧め ④ 余震に備えて
- ①～④に関する新しく確認できたことごとを各自でまとめる。

活動3

災害発生時に、中学生はどのような役割を担うことができるだろうか。

災害発生時に、学校や家庭・地域において、中学生はどのような行動がとれるかを考え、班ごとに話し合い、共有し合う。

【第2時の活動および指導内容】

活動1 災害への備えの実態把握

- 今後の災害への具体的な備えについて、各家庭の調査結果を元に考えさせる。
- 各自の家庭のデータを振り返り、今後の努力点に着目させる。
- 南光台東中学区の全体的傾向をつかみ、地域としての努力点についても考えさせる。

活動2 災害に対する備えのあり方

副読本 P38・39・43 を読ませ、

- ① 防災・減災とは
- ② 自宅内避難所をつくろう
- ③ 循環備蓄の勧め
- ④ 余震に備えて

新しく確認できたことをまとめさせる。

活動3 災害発生時における中学生の可能性

災害発生時に、中学生は学校や家庭・地域でどのように行動をとり、貢献できるかを考えさせる。